

パペットサークル（県立広島大学）

平成
24年度

◎チーム紹介

僕たち「県立広島大学パペットサークル」は、現在、1～3年生の計13名で人形劇の活動をしています。主な演目は、「100万回生きたねこ」や「ヘンゼルとグレーテル」です。

最近は演目の始めや終わりにレクリエーションを取り入れ、人形劇以外にも子どもたちと交流を深めようと思い、メンバー全員で励んでいます。「ワクワク学び隊」を通して、子どもたちから元気をもたらすことができ、いつも行くのを楽しみにしています。

◎活動の様子

活動教室：たのうら放課後子ども教室（三原市）

日時：平成24年9月6日（木）15:00～17:00

場所：三原市立田野浦小学校

参加人数：7名（大学生ボランティア）、40名（子ども）



最初に、人形劇「ヘンデルとグレーテル」を上演しました。人形を上手に操り、マイクを使わずに台詞を言いました。子どもたちはお話を集中して聞くことができ、時折、笑い声も起こり、楽しく聞くことができました。

上演後、子どもたちは感想を発表しました。「魔女を押そうとしたら、何回も魔女が振り返ったところがおもしろかった」という感想が多く出ました。最後に、みんなで記念撮影をしました。



人形劇の後は、体育館でレクリエーションとして、学生が紹介したドッチビーをしました。ドッチビーは、当たっても痛くないように柔らかいフライングディスクを使うので、みんな積極的にプレーできます。みんな、元気に体を動かすことができました。

◎大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちが人形劇で笑ってくれて、活動を全力ですることができました。
- ・ スタッフの方から、もっとこうしたらよくなるというアドバイスをもらい、今後の活動の参考になりました。
- ・ 普段は講義や実習で、子どもたちと触れ合う機会がありません。放課後子ども教室を通して、子どもたちと会って遊ぶことが楽しいです。

◎市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 40名ほどの子どもが緊迫する場面では息をのみ、面白い場面では歓声を上げるなど、終始集中して観劇することができました。
- ・ 毎年学生さんが来てくださることを子どもは、大変楽しみにしています。通常の活動に変化が生じて、コーディネーターとしても助かっています。
- ・ 県立広島大学の学生さんとの繋がりが子どもたちの中にできてきつつあります。できれば毎年同じ大学から、来ていただきたいと思います。

県立広島大学パペットサークル(県立広島大学)

平成
23年度

◎チーム紹介

「県立広島大学パペットサークル」は、県立広島大学三原キャンパスの18名からなるチームです。活動内容は、「ヘンデルとグレーテル」や「100万回生きたねこ」などの人形劇の上演です。人形劇を通して子どもたちとの交流を深めることができればと思っています。

皆さん、放課後子ども教室で人形劇を楽しみませんか。

◎活動の様子

活動教室：三原市ほんごう放課後子ども教室

日時：平成23年7月9日（土） 10:00～12:00

場所：本郷生涯学習センター

参加人数：13名（大学生ボランティア）、28名（子ども）



人形劇「ヘンデルとグレーテル」と「100万回生きたねこ」を上演。

人形劇終了後に「パペットサークル」のメンバーが子どもたちから人形劇の感想を聞きました。



人形劇観劇のあとは、子どもたちといっしょにレクリエーションを楽しみました。

子どもたちから、「とても楽しかった。」「また、来てね。」と、たくさんの声が聞かれました。

◎学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

サークルの顧問の先生からお話を伺い、子どもたちをはじめ、地域との交流ができるので是非やろうと思い、「ワクワク学び隊」に登録しました。

私たちは高齢者を始め人との円滑なコミュニケーションが必要な仕事に就くことになるので、人との触れ合いのあるこのような機会を経験することは、社会性等を身につける上で、大変勉強になりました。

◎市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもたちが生き生きと楽しそうに活動でき、とてもよかったです。また、子どもたちだけでなく、私たちも楽しめました。

若い人たちとの触れ合いの中で、普段と違った活気がありました。